

コンテナの運用・管理と課題解決策～Kubernetesを中心として～【会場・オンライン同時開催】（4122249）

企業のデジタルトランスフォーメーションが求められるなか、そのスピードに対応できるIT基盤が求められるようになりました。コンテナはその一つの解決策であり、多くの企業が導入・検討を進めています。しかし、膨大な数のコンテナを効果的に管理するためには、これまでの運用だけでなく、有用なツールの活用や体制・文化を考慮しなければなりません。本セミナーでは、コンテナの運用・管理の課題を取り上げ、Kubernetesを中心としたソリューションについて解説します。

開催日時	2022年9月22日(木) 10:00-17:00
カテゴリー	IT基盤構築・維持・管理 専門スキル
DXリテラシー	What(DXで活用されるデータ・技術)：デジタル技術 How(データ・技術の活用)：活用方法・事例
講師	鈴木洋一郎 氏 (株式会社PKSHA Technology Algorithm Solution事業部 エンジニア) 日本アイ・ビー・エム株式会社にて、マルチテナント型クラウドサービスの運用を経て、様々な業界におけるクラウド・コンテナ案件の設計・構築・運用・技術支援を経験。 現在は株式会社PKSHA Technologyにて、コンテナを活用したソフトウェア開発に従事。 Kubernetes/OpenShiftの資格を取得 共著「OpenShift徹底活用ガイド」 シーアンドアール研究所出版
参加費	J U A S 会員/ITC：33,800円 一般：43,000円（1名様あたり 消費税込み、テキスト込み） 【受講権利枚数1枚】
会場	一般社団法人日本情報システム・ユーザー協会（日本橋堀留町2丁目ビル2階）
対象	◆対象：コンテナの運用・管理者、コンテナの運用・管理を計画している方 ◆受講前提条件：システム開発・保守の経験を持っていること 中級
開催形式	講義
定員	25名
取得ポイント	※ITC実践力ポイント対象のセミナーです。（2時間1ポイント）
特記	・お申込み後マイページより受講票をダウンロードして内容をご確認ください。 ・オンラインにてご参加の方も、演習や質疑応答でマイクを利用することがあります。ご発言いただける環境にてご参加ください。
ITCA認定番号	ITCC-CPJU9575
ITCA認定時間	6

主な内容

■受講形態

【選べる受講形態】

A. 会場にてご参加：【Co-lab-po（2 階会議室）施設利用にあたっての取り組み】

B. オンラインにてご参加：【セミナーのオンライン受講について 】

■テキスト

A. 会場にてご参加：当日配布

B. オンラインにてご参加：開催 7 日前を目途に発送（お申込時に送付先の入力をお願いします）

※開催 7 日前から開催前日までにお申込の場合、テキストの送付は開催後になることがあります。ご了承ください。

■開催日までの課題事項

特になし

企業のデジタルトランスフォーメーションが求められるなか、そのスピードに対応できるIT基盤が求められるようになりました。コンテナはその一つの解決策であり、多くの企業が導入・検討を進めています。しかし、膨大な数のコンテナを効果的に管理するためには、これまでの運用だけでなく、有用なツールの活用や体制・文化を考慮しなければなりません。本セミナーでは、コンテナの運用・管理の課題を取り上げ、Kubernetesを中心としたソリューションについて解説します。

■主な内容

第一部 コンテナの管理

- ・DX時代に求められるITシステム
- ・コンテナとは
- ・コンテナアプリの運用・管理
- ・コンテナ運用・管理のソフトウェア

第二部 コンテナ管理の課題とソリューション

- ・複数ホストとコンテナの管理
- ・コンテナのスケジューリング
- ・データ管理
- ・ネットワーク管理
- ・パフォーマンス・キャパシティ管理
- ・セキュリティ管理
- ・マニフェストファイルの管理

第三部 コンテナ運用の課題とソリューション

- ・アップグレードとロールバック
- ・コンテナの死活・アプリ監視とセルフヒーリング
- ・ログ・メトリクス監視
- ・スケーリング
- ・環境のプロビジョニング
- ・バックアップ
- ・リリース
- ・運用の自動化

第四部 クラウドネイティブ運用に向けて

- ・クラウドネイティブ時代の運用体制・文化
- ・サイト・リライアビリティ・エンジニアリング
- ・カオスエンジニアリング